

洋ランの日々の管理方法(栽培環境)

出典:NHK出版「みんなの趣味の園芸」ホームページより (2001.04.03)

属名など	春	夏	秋	冬
【コチョウラン】 Phalaenopsis	春の終わり(5月下旬)から秋の初め(9月下旬)までは戸外で管理	強い日光を嫌うので、夏は40~50%の遮光ネットの下に置きます。	秋の初め(9月下旬)までは戸外で管理	冬は室内の直射日光の当たらない、やや明るめの場所に置きます。
	やや暖かめ(18 以上)を好む			
【デンドロビウム】 Dendrobium <ノビル系>	3月下旬から戸外で管理し、5月初めに弱めの遮光	戸外で管理し、5月初めから9月初めまでは弱めの遮光	戸外で管理	冬の間は室内の日当たりのよい窓辺に置きます
	1年を通して十分日光に当てるのが大切で、特に長い時間日に当てるようにするとよく開花します。庭木の下などはやや暗すぎる場合が多いので注意が必要です。また、できるだけ株どうしの間隔をあけ、風通しがよくなるようにします。			
<キンギアナム系>	春4月ごろから戸外で直射日光に当てて栽培する		10月下旬には室内に取り込み、日当たりのよい窓辺に置くようにします。	
	できるだけ強い日光の当たる場所で管理します。			
原種:ロディゲシイ <デンファレ系> <フォーサモス系>	風通しよく明るいところに置きます。やや暗くても育ちますが花つきが悪くなります(日当たりが強すぎてもだめで、温室の半日陰になるところがお好みのようです)。寒さには強いほうで寒風と霜を避け乾燥気味にすると屋外で越冬してくれます(寒冷地では保護が必要です)。			
【デンドロキラム】 Dendrochilum	5月から10月の気温が高い時期は、戸外に置き、30~50%ほどの遮光をします。風通しのよい場所を選ぶとよいでしょう。		11月から4月までは、室内の日当たりのよい窓辺に置き、レースのカーテン越しの日ざしを十分に浴びさせます。天気の良い暖かい日は窓を開けて風を通します。	
	ふだんから置き場の風通しには注意することが大切です。			
【ディネマ】 Dinema	春から秋までは戸外で栽培します。戸外に出すときは、少し日よけをしたほうが株がきれいに育ちます。夏の暑さは問題ありません。			冬は室内の窓辺で栽培します。
	日当たりのよい場所で通年栽培します。洋ランとしては比較的低温に強い種類ですが、冬は最低でも5 以上を保つようにします。			
【エピデンドラム】 Epidendrum	真夏日が続く、日ざしの強いときだけ少し日よけをして葉焼けを防ぎますが、基本的には一年中直射日光に当てるようにします。			冬は室内でガラス越しの日光に当てます。
	鉢植えで栽培し、できるだけ日当たりのよい場所に置きます。日当たりがよいほど花つきもよくなります。			
【ハウエアラ】 Howeara	秋から春まではオンシジュームのように良く日に当てることを心がけます。	直射日光を嫌い涼しい湿った風を好むので木陰などに吊るして、水は毎日一回夕方に頭から株全体を洗い流すようにタップリ与える。	秋から冬にかけては-低温に強いので-早くから室内に取り入れず、ぎりぎりまで戸外に置いた方が良く育ちます。	最低気温が7 位になったら室内へ取り込みます。できるだけ窓辺のほうが良いです(良く日に当てる)。水やりはやや控えめに
	直射日光の当たらない風通しの良い場所に置きます。この項の出典:タローさんの洋らん栽培			
【マキシラリア】 Maxillaria	4月ごろから10月末までは戸外で管理します。戸外では35%程度の遮光をした明るい場所に置きます。このとき暗くしてしまうと(遮光が強すぎると)花つきが悪くなります。			冬は室内の窓辺で
	日当たりのよい環境を好む洋ランです。			
【マスデバリア属】 Masdevallia	4月下旬から10月いっぱい、屋外の遮光した場所に置きます。遮光50%を基本にし、日ざしが強くなる梅雨明けから9月中旬は、遮光60~70%にします。	暑さには十分気をつけて、扇風機で一日中風を送り、涼しい環境をつくるようにしてください。		11月から4月中旬までは室内の窓辺に置きます。ただし、直射日光には当てないように、レースのカーテン2枚越し程度の日照量にしましょう。
【オンシジューム】 Oncidium	5月中旬までは、室内の日当たりのよい窓辺で管理します。	5月中旬から10月中旬の、平均気温が15 以上で日ざしの強い時期は、戸外の風通しのよい日なたに置き、50~70%の遮光ネット越しの日ざしに当てます。		10月中旬以降、平均気温が15 より下がってきたら、室内へ移動させましょう。